

4-② 子どもに届けよう、あなたの想い

■対象：乳幼児～小学校低学年の親 ■時間：75分程度 ■手法：ロールプレイ

学習のねらい いろいろな要因が複合的に絡み合うことで起きた親のイライラが高まる場面を役割演技し、その後、気持ちが落ち着いた場面で、想いを子どもにどのように伝えるか考え役割演技することで、子どもとのかかわりを考える。

準備するもの 筆記用具 ワークシート 時計（ストップウォッチ）（ペープサート）

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、ある条件設定のもと、親と子どものやりとりを役割演技して、気づいたことや感じたことを意見交換していただこうと思います。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
13分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①あんたがたどこさ（P101） （個⇒2人組⇒全体）</p> <p>②動物あて（鳴き声とジェスチャー） （親学プログラムP99）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動が苦手な人がいないか様子を観察する。 ・グループ分け（3人組）のあと、簡単に自己紹介をしてもらう。 	
50分	<p style="text-align: center;">《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>①場面設定の状況を把握する</p> <p>②イライラが爆発してしまった原因について話し合う</p> <p>③子ども役、親役、観察者役に分かれ、【役割演技①】をする ※役割を交代しながら実施する</p> <p>④感じたことや気づいたことを意見交換する</p> <p>⑤【役割演技②】の台詞を考える</p> <p>⑥【役割演技②】をする ※【役割演技①】と同じように</p> <p>⑦感じたことや気づいたことを意見交換する</p> <p>⑧グループで話し合ったことを代表者が発表する</p> <p>⑨まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回はじめに役作りの時間をとり、終わった後は拍手をし、役を引きずらないよう配慮する。 ・受講者の様子を観察し、役割演技に抵抗がある場合、観察者だけする等、場合に応じて対応する。 ・役割演技をしやすくするため、ペープサート（紙人形）を使ってもよい。 ・グループに寄り添い、どのような話し合いがされているか把握に努める。 	<p>ワークシート1 筆記用具</p> <p>ワークシート2 （ペープサート）</p>
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①感想をワークシートに記入する</p> <p>②グループでふり返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の子どもへのかかわり方を改善していこうとする意欲づけにつなげる。 	
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いろいろな要因が重なって、ついカッとなって子どもにつらく当たりはしたが、落ち着いてから考えると、「自分も悪かったなあ」と反省することもあるのではないのでしょうか。そのような時に、そのままにしておくのではなく、今日のように想いを子どもに伝えることで、親と子どもの気持ちを楽にして、よりよい関係づくりにつながるかもしれません。今日のことをきっかけに、これからも子育てについて話し合う機会があるといいですね。</p> <p style="text-align: center;">《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		

4-② 子どもに届けよう、あなたの想い

① 場面設定の状況を把握する（4分）



ワークシートを配ります。ワークシートには、今からみなさんにやっていただく役割演技の場面設定と台詞が書かれています。まず、場面設定を読みます。（場面設定を読む）
次に、私たちが役割演技をしてみます。（ファシリテーターが役割演技をする）
この場面で、カットとなってしまった原因はなんだったのでしょうか。「親の具体的な設定」の中で、原因だと思うところに線を引きましょう。2本以上引かれてもかまいません。2分でお願いします。

② イライラが爆発してしまった原因を話し合う（5分）

それでは、グループで意見交換をしましょう。どこに線を引いたか、そして、そのわけを話し合ってください。時間は5分です。



③ 子ども役、親役、観察者役に分かれ、【役割演技①】をする（10分）



それでは、次の台詞で役割演技を行います。
今日は、交代してどの役も体験していただきますが、まず1回目の役割を決めてください。（しばらく時間をとる）
決まりましたでしょうか。台詞は言いやすいように多少変えてもかまいません。観察者は、親子のやりとりがどんなふうに行われているのかを観察してください。終わりましたら拍手をしましょう。始める前に30秒とりますので、静かに役作りをしてください。「よーいスタート」の合図をしたら始めてください。（30秒）
それでは1回目です。「よーいスタート」（3回繰り返す）

④ 感じたことや気づいたことを意見交換する（5分）

それぞれの役割をやってみて、感じたことや気づいたことなど、自由に話し合ってください。時間は5分です。



⑤ 【役割演技②】の台詞を考える（5分）



実は、先ほどの役割演技①には続きがあります。ワーク2の設定を読みます。この場面で、あなただったら子どもに何をしますか。そしてどんな想いを伝えますか。ワーク②に台詞を考え記入しましょう。時間は5分です。

⑥ 【役割演技②】をする（10分）

考えた台詞で役割演技②をします。先ほどと同じ順で、同じ進め方で行います。役作りの時間をとります。合図をしたら始めてください。（30秒）
それでは1回目です。「よーいスタート」（3回繰り返す）



⑦ 感じたことや気づいたことを意見交換する（5分）



役割演技をしてみて、感じたことや気づいたこと先ほどの役割演技①との違いなど、自由に話し合ってください。
時間は5分です。後で、グループの代表の方に話し合いの様子を発表していただきますので、代表者も決めておいてください。

⑧ グループで話し合ったことを代表者が発表する（5分）

時間になりましたので、グループでの話し合いの様子を代表の方に発表していただきます。1グループ1分程度で簡単に紹介をお願いします。



⑨ まとめ（1分）



いかがでしたか。実際に役割演技をしてみることで、気づかれたことがあったのではないのでしょうか。それでは、今日の学習をふり返って、感じたことや気づいたことをワーク3に書きましょう。

4-②「子どもに届けよう、あなたの思い」ワークシート1

子どもに届けよう、あなたの思い

役割演技の場面設定

概略

- ・家庭での親と子どものやりとりの場面。
- ・どうしても明日までに片付けなければならない仕事を家庭でしている親に、子どもと一緒に折り紙を折ってほしいとせがんでくる。親にさまざまな条件が重なり、子どもに対してイライラが爆発してしまった場面。

親の具体的な設定

- ・夫婦と5才の息子（または娘）の3大家族。
- ・子どもに対しては、常日頃から「約束を守る人になってほしい」と願っている。
- ・子育てについて、頼ったり、相談したりできる相手がない。
- ・職場での人間関係がこじれていて、仕事がうまくいかなくても同僚や上司に相談ができない状態である。
- ・今日の夕方、職場において、同僚と一緒に進めている仕事で明日の会議に必要な企画書をシュレッダーにかけてしまい、再度作り直さなければならなくなった。
- ・今夜は、夫（または妻）が不在のため、早く家に帰って、夕ご飯を終え、これから、企画書を作り直そうとし始めた時。

役割を決めましょう

- ①「親」 ②「子ども」 ③「観察者」

ワーク1 役割演技①

親：（テーブルで、パソコンを打っている）

子：ねーねーお母さん（お父さん）、折り紙で「ぞうさん」作ってよ

親：（パソコンから目を離さずに）仕事で忙しいんだ

子：えーっ、今作ってよ！この前、作ってあげるって約束したよ！

親：今は忙しいから作れないの！また、今度作ってあげるから

子：いやだ！ うそつき！ 作って！作って！作って！作って！

親：いい加減にきなさい（怒）！

子：えーん（泣）

4-②「子どもに届けよう、あなたの想い」ワークシート2

子どもに届けよう、あなたの想い

ワーク2 役割演技②

このお母さん(お父さん)は、次の日、仕事を終え帰宅途中、昨夜の子どもとのやりとりを思い出し、次のようなことを考えています。

「昨日は、いろんなことが重なって、子どもにつらく当たってしまったなあ。」

「子どもには約束を守る人になってもらいたいのにな、自分が約束を破ってしまったなあ。」

「帰ったら、子どもに○○しよう。」

家に帰って「ただいま」と子どもに声をかけましたが、昨日のことを引きずっているのか、ふてくされてそっぽを向いています。

親：(子どもを呼ぶ) ちょっといいかな？

子：何！

親：

ワーク3 今日の学習で感じたこと、気づいたことを書きましょう。

